



とうきょうの木へ、  
「支えてくれてありがとう。」

とうきょうの木を、  
「選んでくれてありがとう。」



とうきょうの木®

ブランドブック

多摩産材認証協議会  
とうきょうの木® 広報事務局



**とうきょうの木®**は、東京で大切に育まれた木。  
都民に潤いある暮らしをもたらしてきた木です。  
だからこそ、都民のみなさんに、  
使って欲しい、選んで欲しい木です。



東京都で育った地域産材を利用することで、  
都民の暮らし、地球環境などを、未来の社会で持続的にしていく、  
**エシカルブランド とうきょうの木®**を都民と共創します。

# くらしに役立つ多摩地域の森林

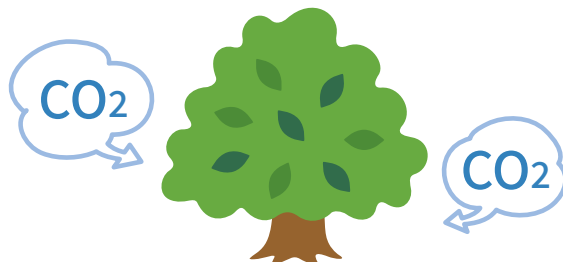
## 東京都民は森林に支えられて、くらしている

東京都の面積の約4割は森林で多摩地域を中心に豊かな森林が広がっています。その森林は自然災害を防ぎ、豊富な水資源を提供したり、二酸化炭素を吸収するなど、私たちのくらしを支えています。

また、多くの生物が生息しており、キャンプや山登りなど、自然を楽しめます。



山崩れや地すべりを防ぐ



二酸化炭素を吸収する



多様な生物のすみか  
レジャーの場にもなる



洪水の防止



水資源の確保

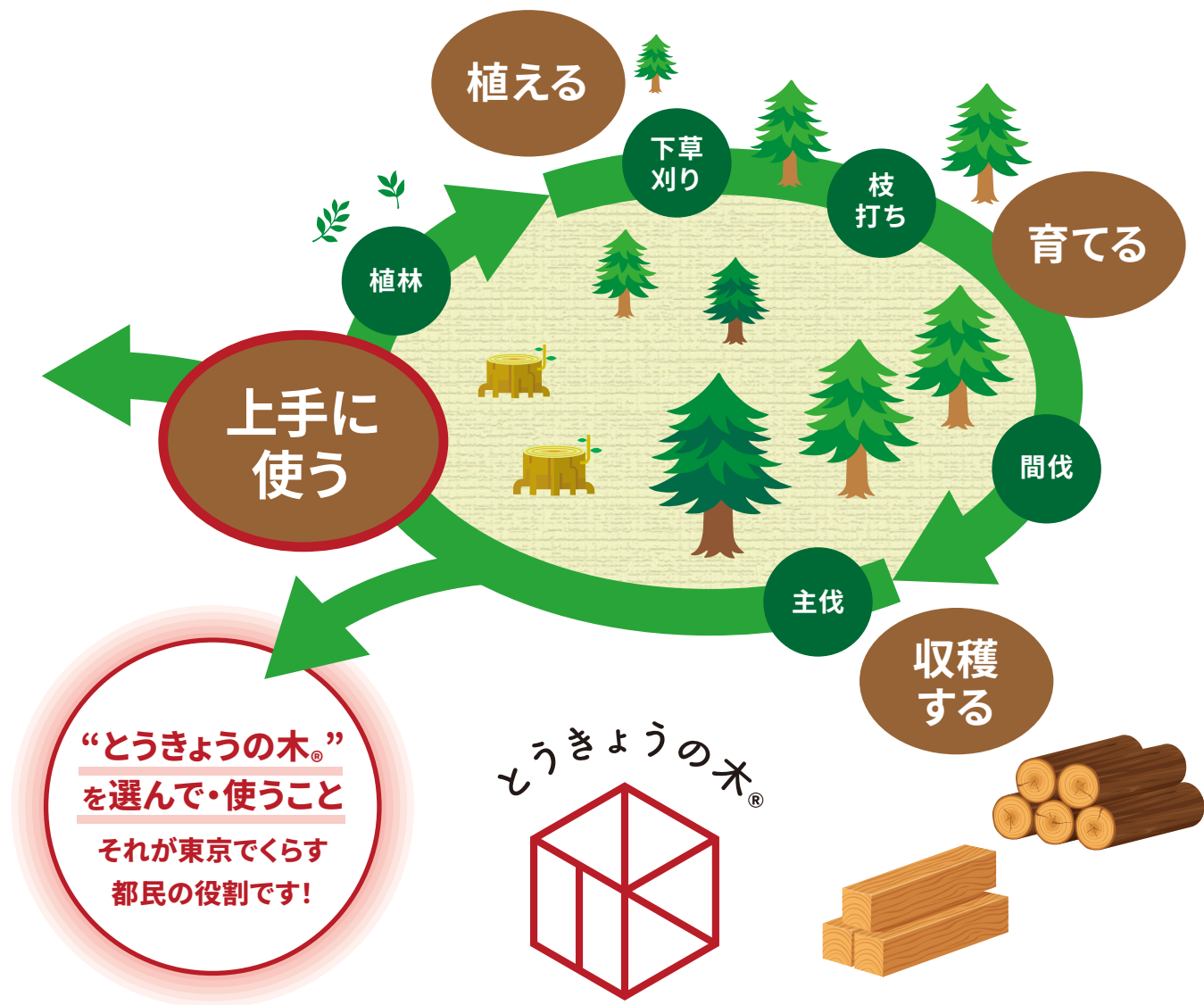
## 東京で安心してくらすことができる、その背景には多摩地域の森林





# なぜ、森林を伐採するの？木を使うの？

森林が機能を発揮し続けるために、「森林循環」が必要



木を使うことで新しい森林に生まれ変わる。そのために何ができる？



森にも手入れが必要です。使うことを前提に植えられた木は、伐られないままでは、衰えていくと同時に、他の植物の成長を邪魔し、森が衰えていきます。成長した木を人間が伐って、使うことで、新しい木を植えることができます。そのサイクルを進めて、健全な森林を未来に残していくために、

とうきょうの木®を、都民のみなさんに  
選んで・使って欲しいのです。

# とうきょうの木®を使うといいことがたくさん！

使えば、私に、東京に、社会に、地球に、いいことだらけ！



湿度が一定に保たれ、  
冷暖房費も抑制

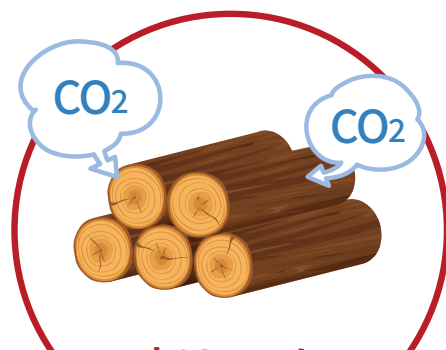
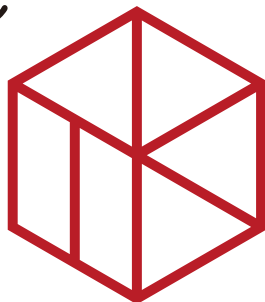


自然に分解され  
ゴミとして残りにくい

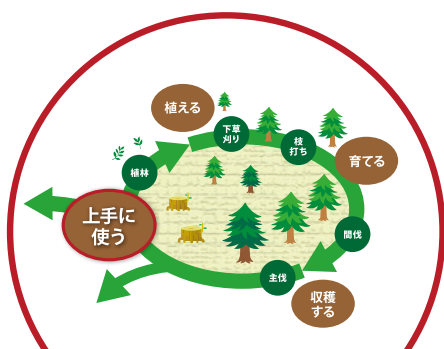


リラックス効果がある

とうきょうの木®



木はCO<sub>2</sub>を  
閉じ込めている



森林循環に繋がり、  
森が健全に保たれる



都内で使えば  
輸送距離が短くて  
環境負荷が低い

とうきょうの木®をみんなが「欲しい」「使いたい」ブランドに！

# とうきょうの木® で、くらしている

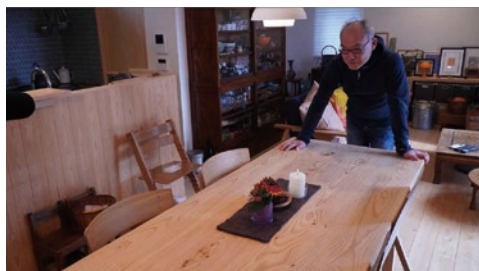
## 江戸時代でも使っている



資料提供：東京都立中央図書館

江戸時代から、とうきょうの木® は人々の生活に役立ってきました。建物はもちろん水道の設備や生活用品、商品箱など身近な存在だったのです。

とうきょうの木® を使って家を建てる人も増えています。木材は断熱性・吸湿性も高く、快適な空間をつくることができます。



© アキモト+ウドウ設計事務所

## 家も建てている

## いろいろな建物で使っている



提供：小田急電鉄（株）



今、木造の高層ビルが建てられるなど世界各地で建築物の木造・木質化が進んでいます。東京でもとうきょうの木® を使った施設が増えてきています。

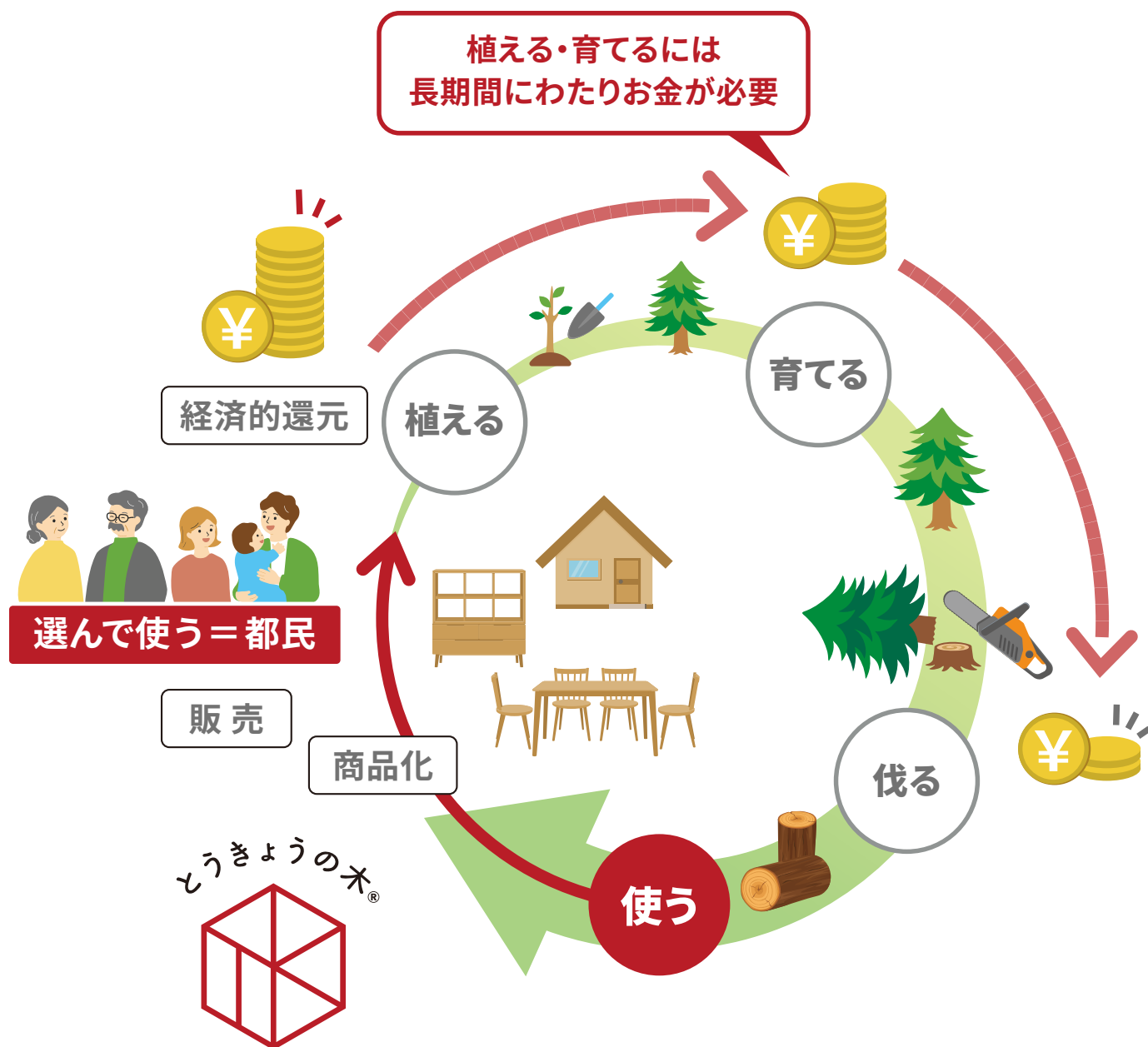
とうきょうの木® は私たちの身近な生活にも彩りを与えてくれます。良いデザインの商品は、みなさんのくらしをより良いものにしてくれるのではないのでしょうか？



## くらしの中でも使える

# とうきょうの木®を選んで使うことが なぜ森林循環を支えるの？

森林循環を進めるためには、お金も必要



とうきょうの木®を「選んで使う」ことが都民の役割

東京の豊かな森を育むには、「植える」「育てる」といった地道な手入れが欠かせません。そこでは、多くの人の手と時間、そして費用がかかっています。

私たち都民が、暮らしの中で「とうきょうの木®」の商品を積極的に選んで使うこと。その選択が、森を守る人たちの活動を支える資金となり、健全な森林循環を生み出します。「選んで使う」。それこそが、多摩の美しい森を未来へつなぐ、私たち都民の大切な役割です。



# とうきょうの木®を使って ものづくりに、ビジネスに！

今こそ、東京でとうきょうの木®を使う。チャンスが広がる。

## 脱炭素・循環型社会への貢献で 企業価値の向上が期待される

地球環境・社会の持続のために、企業には脱炭素・循環型社会への貢献が求められています。企業姿勢だけでなく、具体的な貢献内容が評価されています。とうきょうの木®は、大消費地・東京を背景に展開するブランドです。多くの消費者へのアピール・地域への貢献が可能になるとうきょうの木®を選んで、ビジネスに活かしてみませんか？



## 倫理的消費活動・エシカル消費へ 生活者の関心が向上中

近年、「エシカル消費」という言葉が注目されています。生活者が環境の持続性や、フェアトレードに配慮してつくられた商品を選ぶ、倫理的消費活動が、若年層を中心に広がっています。

とうきょうの木®ブランドは脱炭素・循環型社会にマッチし地域への経済的還元までを視野に入れたブランドです。

ぜひ、とうきょうの木®で、生活者の心を捉えませんか。

とうきょうの木®ブランドに加わっていただく企業様を募集！

東京の木多摩産材利用事業者になっていただき、とうきょうの木®ブランドの商品づくり・建物づくりに取り組む企業様を募集中。みなさんの企業のため、東京のため、社会のため、地球のために、とうきょうの木®を活かしてよりよい未来を目指しましょう！

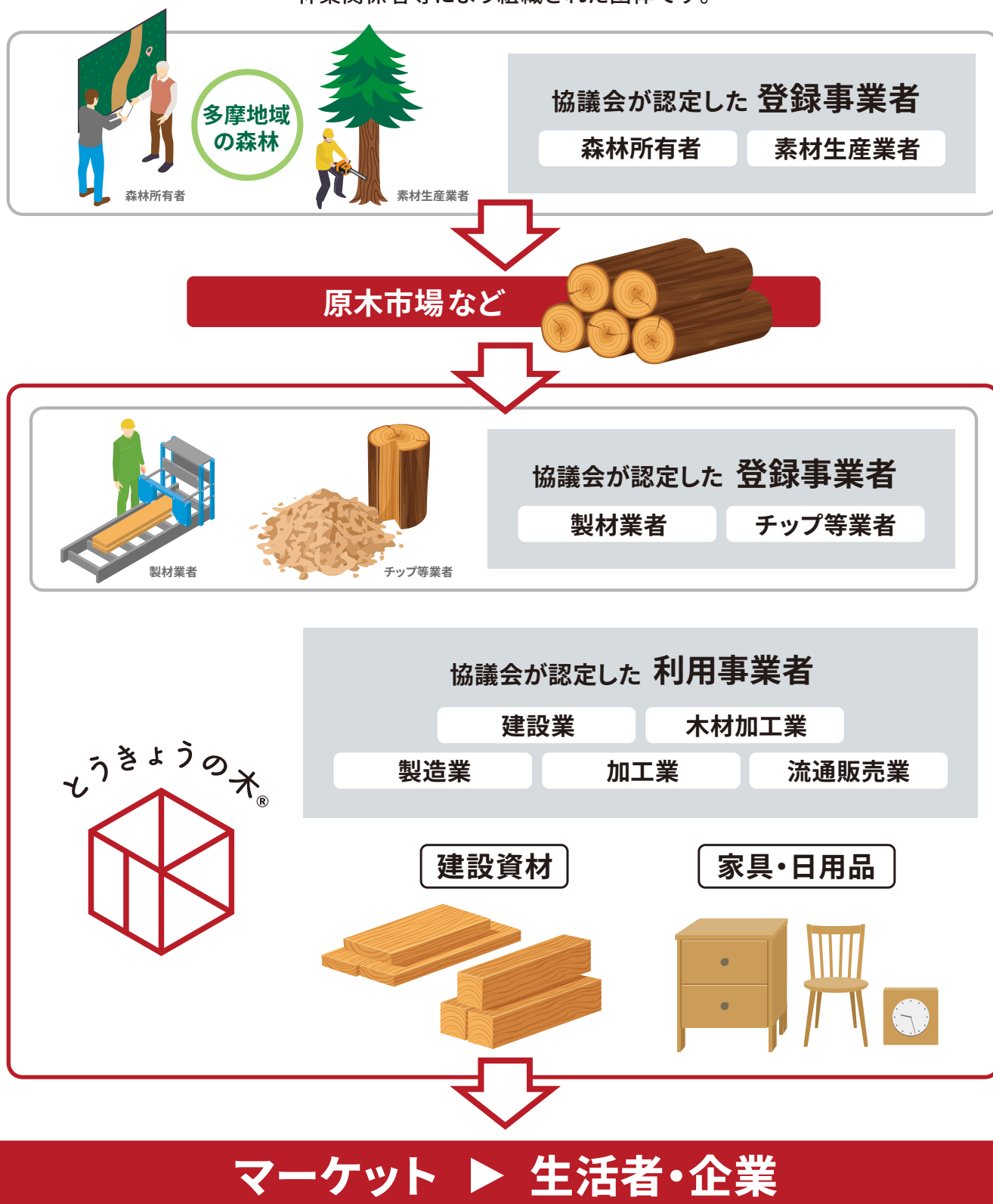


# とうきょうの木®の流通

## とうきょうの木®の流通イメージ

詳細については多摩産材認証協議会へお問合せください。

多摩産材認証協議会は、東京の木多摩産材認証制度を運営するために、  
林業関係者等により組織された団体です。



# とうきょうの木® ブランドの背景

## ●多摩地域の森林面積 約53,000ha

(令和6年「東京の森林・林業」東京都産業労働局)

- ・東京都は全面積の約4割が森林。その約7割が多摩地域西部にあります。
- ・約6割が人の手で植林された人工林です。

## ●森林循環のサイクル 約40～50年

- ・“植える” “育てる” “使う” “植える”というサイクル(森林循環)には長い時間が掛かります。
- ・その間に植林・下草刈り・枝打ち・間伐など、木を育てるための作業が続きます。出荷されるまでに大切に育まれていくのです。

## ●多摩地域の人工林の林齢 51年以上が約8割

(令和6年「東京の森林・林業」東京都産業労働局)

既に植えられてから50年を超えた「伐りどき」の木が多く、とうきょうの木®は、今が「使いどき」なのです。

## ●認定利用事業者数 49事業者

- ・令和7年10月現在、認証制度の利用事業者数は49者で、徐々に増え続けています。
- ・とうきょうの木®を多くの都民に知っていただき、利用を活性化するには、様々な商品が増えることが、重要です。



以上のような様々な背景を持っているとうきょうの木®を、ブランドとして認知していただくために、様々な活動を広報事務局では展開しています。

# 連絡先・関連Webサイト

## ◆広報についてのお問合せ

とうきょうの木® 広報事務局

Webサイト <https://tokyonoki.jp/>

連絡先 [koho@tokyonoki.jp](mailto:koho@tokyonoki.jp)



WEBサイト



連絡先

## ◆東京の木多摩産材認証制度 利用事業者認証のお問合せ (とうきょうの木® ブランドに関心をお持ちの企業様)

多摩産材認証協議会【事務局：(一社)東京都森林協会】

Webサイト <https://tokyo-shinrinkyokai.com/>



多摩産材認証協議会

＊多摩産材認証協議会概要

上部タブの(一社)東京都森林協会＞関連団体＞多摩産材認証協議会

＊とうきょうの木®の規定や利用事業者認定に関して

上部タブの東京の木多摩産材認証制度から各情報ページへ

連絡先 / 上記Webサイトの問合せフォームよりお問合せ TEL:042-597-2881

## ◆関連Webサイト

公益財団法人東京都農林水産振興財団

<https://www.tokyo-aff.or.jp/>



農林水産振興財団

東京都産業労働局農林水産 林業

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/ringyou>



東京都産業労働局

花粉の少ない森づくり運動

<https://moridukuri.tokyo/>



森づくり運動



しょうぎょうの米®

